

事務所移転で顧客 対応の迅速化へ

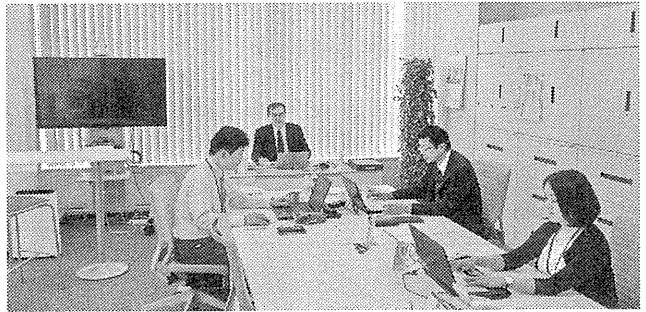
辰田支店長「今期受注20億円超目指す」

JFEシビル 東北支店

JFEシビル東北支店(辰田広一 支店長)は、JR仙台駅東口の新事務所を拠点に顧客に対する迅速対応に注力し、今期受注20億円超の達成を目指す。

同支店は2月末、仙台市宮城野区高砂から仙台駅東口の小田急仙台東口ビル(若林区新寺1-2-26)に事務所を移転。仙台駅から

移転を機に受注拡大を目指す



受けて本社設計部がデザイン。同社のデザイン力をPRするシヨールームの機能も担っている。また、機能面でも打ち合わせにはスタンディングテーブルを使用するなど効率性に配慮した。

4月からは工務担当職員を1名増員し計6人体制となり、見

徒歩6分と利便性が格段に向上し「重要継続顧客と近隣になったことで対面打ち合わせの機会が増え、きめ細かい迅速な対応がより可能となった」(辰田支店長)。さらに、大手建築設計事務所が同じビルに入居しており「ゼネコンとの接点が広がる相乗効果も生まれている」(同)。

内装は支店の意向を

積もりなど技術面の即時対応力も向上した。辰田支店長は「16年度売り上げは15年度を約5億円上回る13億円と過去最高の数字を出した。新たな環境で職員のモチベーションも上がり、今期の受注目標は20億円超。2〜3年後には全社システム建築事業部の売り上げの10%を担える支店にしたい」と話している。